

2023年10月期第3四半期 連結決算の概要

2023年9月7日

株式会社トップカルチャー

(1) 総括

当社グループの2023年10月期第3四半期連結決算（2022年11月1日～2023年7月31日）は、以下の通りです。

- ・売上高は、145 億 97 百万円（前年同四半期 161 億 24 百万円）
- ・営業損失は、4 億 72 百万円（前年同四半期営業利益 1 億 9 百万円）
- ・経常損失は、5 億 19 百万円（前年同四半期経常利益 95 百万円）
- ・親会社株主に帰属する四半期純損失は、5 億 77 百万円（前年同四半期純利益 43 百万円）

(参考)

事業転換における売上の状況

※収益認識基準適用前の総額売上高

既存店比較

| | 前年 | 当年 | 前年比 | 百万円 |
|-------------------|--------|--------|---------|--------|
| ■ 蔦屋書店事業 | 15,102 | 13,829 | △ 1,273 | 91.6% |
| ■ トップブックス(ふるいち)店舗 | 317 | 1,445 | 1,129 | 456.4% |
| 小売店舗事業計 | 15,419 | 15,274 | △ 145 | 99.1% |

全店比較

| | 前年 | 当年 | 前年比 | 百万円 |
|-------------------|--------|--------|---------|--------|
| ■ 蔦屋書店事業 | 16,311 | 14,498 | △ 1,813 | 88.9% |
| ■ トップブックス(ふるいち)店舗 | 317 | 1,445 | 1,128 | 619.1% |
| 小売店舗事業計 | 16,628 | 15,943 | △ 684 | 95.9% |

※閉店店舗による影響 △1,075百万円／9店舗

(2) 連結業績の要素別分析

特撰雑貨文具の食品やコスメ、服飾等の売上が伸長し、また今期導入を進めております「DAISO」（当第3四半期までに6店舗導入）と「ガシャポンバンダイオフィシャルショップ」（当第3四半期までに9店舗導入）の新規事業の売上が牽引いたしました。引き続き、高いシナジー効果を創出する商品や新たなチャレンジに取り組んでまいります。

子会社トップブックスのゲーム・トレーディングカード事業においては、当第3四半期までに24店舗事業切替を完了し、売上高前年比 619.1%（※収益認識基準適用前の総額売上高）かつ蔦屋書店事業のゲーム売上高を大幅に上回る結果となりました。子会社のスポーツ関連事業についても、イベントの開催復活がコロナ禍前に近づき売上高 111.4%、訪問看護事業も堅調に推移いたしました。また、タリーズコーヒーのFC運営を行う株式会社メソッドカイザーを新たにグループ子会社に迎え飲食事業の売上も加わり、グループ全体で連結ベースの売上高を創出した一方で、当第3四半期期末までに東京都内他12店舗の営業を終了し減収に大きく影響いたしました。

なお、閉店に伴うコストや人件費の負担、さらに固定資産処分損を特別損失に34百万円計上したこともあり、純損失となりました。

(3) 今後の展望(中期経営計画の最終年と新たな中期経営計画の発表)

今期までを対象とする中期経営計画の振り返りを行い、2024年10月期から2026年10月期を対象とする、新たな中期経営計画を2023年8月17日に発表いたしました。

また、新たな中期経営計画の経営方針“持続可能な書店創り”という共有の将来展望を持つ、株式会社トーハンに出版物取次企業を変更し、連携を強化することで、収益性の改善とシナジー効果をさらに創出してまいります。詳細につきましては、2023年8月17日に発表いたしました「中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご確認ください。

以上

本文書に関するお問い合わせ先：株式会社トップカルチャー 取締役財務部長兼管理部長 遠海 武則
〒950-2022 新潟市西区小針4-9-1 電話 025-232-0008